

今回の定例会

12月

3月

9月

6月

と の の し ょ う

議会だより

～ 病魔退散！ 無病息災！！ ～

土庄こども園 獅子舞ごっこ



9月定例会を開催しました 2－5

委員会の活動報告 5－7

一般質問（7人の議員が町政を問う）..... 8－15

まちの元気印（藤田智光さん）..... 16

発行／土庄町議会 編集／議会広報特別委員会
香川県小豆郡土庄町淵崎甲1400－2
TEL (0879) 62-7011（議会事務局）
FAX (0879) 62-8303

土庄町議会 で検索

(町ホームページ／土庄町議会)



コロナ対策などの補正予算を可決

令和3年度一般会計補正予算（第2号） 2億5768万4千円の増額



総額 101億2483万5千円

～主な補正予算の内容～

1万3千円分のプレミアム付商品券を1万円で1万2900冊発行
関連ページ▶6P



コロナ
対策

1億
7196
万円

庁舎内の光触媒コーティング処理、
飛沫感染防止パネルの設置



コロナ
対策

603
万円

唐櫃漁港に、ビジターボート用の
浮桟橋を設置する費用

関連ページ▶3P



1528
万円

ワクチン接種を継続して行うための
費用



コロナ
対策

1909
万円

賛成 三木議員
本議案は総務建設常任委員会に付託され、唐櫃の浮桟橋設置については利便性の向上、安全の確保、また今後の地元の要望にも対応可能との説明を受け、審査の結果、承認と決したので賛成する。

※以下、特に注釈等のない場合「コロナ」は「新型コロナウイルス感染症」を指します。

反対 福本耕太議員
唐櫃の浮桟橋設置に反対。地元漁協の要望もなく、協議もない。住民の理解は得られない。また、レジャーボートで来る観光客のコロナ感染チェックができない。豊島住民の健康と命を守るために反対する。

反対 鈴木議員
各地区からいろいろな要望が出ていても、予算の関係等で先送りにされている中、唐櫃の浮桟橋設置は要望も出ておらず、コロナ禍の今、必要不可欠な事業ではないと考えるので反対する。

賛成 茂木議員
唐櫃の浮桟橋設置については、有効な活用方法など、地元と十分に協議する余地があると思うが、予算案には賛成する。

一般会計補正予算（第2号） 討論

9月定例会

令和3年 土庄町議会

議案 審議

9月定例会は9月10日に開会し、9月15日に閉会しました。補正予算3件、条例5件、その他3件、人事案件1件が提出され、人事案件及びその他1件を除く議案は委員会付託による審査を経て、すべて原案どおり可決しました。決算認定については、決算特別委員会を設置し、付託の上、継続審査としました。また、議員発議による意見書1件を可決、1件を否決し、請願1件を不採択としました。
一般質問では、7人の議員が町政について質問を行いました。

付託審査での 主な質疑

観光とアウトドア

《濱野》観光とアウトドアをどのような計画で進めていくのか。

《商工観光課》小団体をターゲットに、小豆島の自然を使ったアウトドアコンテンツを作り、誘客を図りたい。



皇踏山展望台でハイキング

ごみ袋等の金額改定

《茂木》値上げに関する住民への周知方法は。

《住民環境課》広報紙やホームページで丁寧に周知し、11月からの値上げを考えている。

ドライブレコーダー設置 促進事業

《茂木》周知方法は。

《住民環境課》マスコミによる広報のほか、自動車整備工場等にチラシを配布する予定である。



ドライブレコーダー設置費用を補助

唐櫃漁港へ浮桟橋設置

《鈴木》唐櫃からの要望は。

《農林水産課》自治会、漁協からの要望はない。町として危険な部分を改善するための、管理上の提案だ。

《三木》地元と協議し、変更できる部分はあるか。

《農林水産課》漁協等から、漁業組合施設として利用要望があれば、検討したい。
《鈴木》年間の係船件数は。
《農林水産課》平成28年

の85件が最も多く、昨年はコロナ禍のため、18件だった。

《岡野》今まで港湾内での事故や漁協に迷惑をかけた事例はあるか。また、違反に対する罰則等は。

《農林水産課》現在のところ、事故の報告はない。以前、申請が必要と知らずに係船し、漁協とトラブルがあった。罰則はない。

「治安維持法犠牲者国家賠償法の制定を求める意見書」の提出を求める請願

《濱野》遺族や生存者の数は。また、当事者から賠償を求める具体的な動きはあるのか。

《福本耕太》数は団体に確認してほしい。動きについては、国に対してこれまでに48回、請願書を提出している。

《三木》犠牲者や関係者を探しだす手立ては。
《福本耕太》資料が大量に残っているので、正確に分かる場合もある。

否決

◆沖縄戦戦没者の遺骨などを含む地域の土砂を
基地建設の埋め立て等に使用しないよう求める意見書

《三木》沖縄防衛局から県への変更承認申請の許可及び全体的な状況は。
《鈴木》国の姿勢を問題としているので、県の動向など細かいことは申し上げられない。

質疑

《井上》現在、土砂採取は進んでいるのか。また、遺骨は出ているのか。
《鈴木》採取はされていない。遺骨は沖縄南部のいたる所で出ている。
《茂木》同様の意見書は、全国でどのくらい出ているのか。また、戦没者遺骨収集推進法について、どう理解しているか。

《鈴木》6月現在、13市町村で提出、うち5つの議会でも可決されている。法律論より、遺骨が出ている所をターゲットにすること自体が問題だ。

反対 福本達雄議員

人道的に問題があるが、沖縄防衛局は、遺骨の混入した土砂を使うことはあってはならないとの認識を示している。もう少し事実関係や動きを見るべきだ。

賛成 福本耕太議員

今も親や兄弟の遺骨を探し求めている人がおり、遺骨が眠る沖縄南部からの土砂調達は、戦没者への冒とくであり、人道的には許されない。また業者は土砂を重機で掘り起こすため、土砂と遺骨を目視で判別できる保証はない。土砂採掘計画撤回と遺骨収集に全力をあげてことを強く求める。

賛成 茂木議員

事実認定の点など払拭すべきところはあるが、賛成する。

反対 濱野議員

趣旨及び心情は理解できるが、事実確認ができておらず、現状で採決するべきではない。

討論

可決

◆コロナ禍による厳しい財政状況に対処し
地方税財源の充実を求める意見書

要旨

新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、甚大な経済的・社会的影響を及ぼしており、地方財政は厳しい状況に直面している。国においては、令和4年度地方財政対策及び地方税制改正に向けて、十分な地方一般財源総額の確保、固定資産税等に係る特例措置、税源配分など、地方税財源の充実を確実に実現されるよう強く要望する。

【提出先】衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、各関係大臣

本会議での討論

趣旨

不採択

「治安維持法犠牲者国家賠償法の制定を求める意見書」の提出を求める請願

請願者

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟

香川県本部
会長 太田展生

紹介議員 福本耕太 鈴木美香

治安維持法犠牲者国家賠償法（仮名）の制定を支持し、政府並びに関係機関に対して意見書を提出するよう求める。

賛成

濱野議員

請願の採択は、願意の妥当性、実現の可能性、町村、議会の権限事項であるか等が判断の基準とされている。これは、国家による賠償に関すること、国に対しても要請が多数出ているが、審議されていない中、地方議会が判断する範疇を超えている。

賛成

鈴木議員

治安維持法は破滅的な戦争へ導いた悪法である。この歴史を繰り返さないためにも、治安維持法の犠牲者や家族に謝罪と賠償をすべき。私たち一人ひとりが日本国民であり、地方から関係がないことはない。

反対

茂木議員

請願の趣旨内容には賛成だが、事実確認など議会の中での議論が不十分である。

賛成

福本耕太議員

治安維持法の犠牲者に対し、日本政府はこれまで、謝罪や補償、名誉回復の措置を一切行っていない。平和と民主主義の実現のために闘ってきた人々が被った弾圧と抑圧の犠牲に対し、国は真摯な謝罪と賠償をすみやかに行うべきだ。

9月定例会の審議結果と賛否

●賛否の分かれた議案

議案等	議決結果	関連ページ	茂木邦夫	鈴木美香	福本達雄	三木俊明	岡野能之	岡本経治	濱野良一	福本耕太	川本貴也	井上正清	木場隆司	高橋正博
令和3年度土庄町一般会計補正予算（第2号） （補正額2億5,768万4千円を追加し、総額101億2,483万5千円とする）	可決	P2 P3	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	-
沖縄戦戦没者の遺骨などを含む地域の土砂を基地建設の埋め立て等を使用しないよう求める意見書 （国に対して意見書を提出するもの）	否決	P3	○	○	●	●	●	●	●	○	●	●	●	-
「治安維持法犠牲者国家賠償法の制定を求める意見書」の提出を求める請願 （国に対して意見書の提出を求めるもの）	不採択	P4	●	○	●	●	●	●	●	○	●	●	●	-

○：賛成 ●：反対 欠：欠席 -：議長（議長は採決に加わりません）

●全会一致で可決した議案

○令和3年度補正予算			
国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号） (29万2千円を増額し、総額20億3,121万9千円とする)	可決	介護保険事業特別会計補正予算（第1号） (5,441万8千円を増額し、総額21億1,217万7千円とする)	可決
○令和2年度決算の認定			
一般会計及び特別会計の歳入歳出決算の認定 (監査委員の意見を付けて議会の認定に付するもの)	継続 審査		
○条 例			
過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例 (法の施行に伴い、固定資産税の課税免除等を実施するもの)	可決	過疎地域における町税の特別措置条例の失効に伴う経過措置 を定める条例 (条例の失効に伴い、特別措置の経過措置を定めるもの)	可決
○条例の一部改正			
個人情報保護条例の一部改正 (法改正に伴い、条例の引用箇所の条ずれ等に対応するもの)	可決	斎場の設置及び管理に関する条例の一部改正 (豊島斎場の閉鎖によるもの)	可決
廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正 (町指定ごみ袋等の金額改定によるもの)	可決		
○その他			
過疎地域持続的発展計画 (法の制定に伴い、計画を策定するもの)	可決	伝法川防災溜池事業組合規約の一部変更 (庁舎移転に係る事務所の位置変更に伴い、規約の一部を改正するもの)	可決
財産の処分 (王子前埋立分譲地を処分するもの 売却相手方数：1名、売却価格1,200万円)	可決		
○人 事			
固定資産評価審査委員会委員の選任 (任期満了に伴い、引き続き任命：森公士氏)	同意		
○議員発議			
決算特別委員会の設置 (町の財政構造、行政効果の達成状況等を専門的に審査するもの)	可決	決算特別委員会委員の選任 (委員7名を選任：関連ページ5P)	選任
コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を 求める意見書 (国に対して意見書を提出するもの：関連ページ3P)	可決		

決算特別委員会を設置

一般会計、各特別会計の令和2年度決算がまとまり、監査委員の意見を添えて提出された。決算認定については、決算特別委員会を設置し、閉会中に継続審査することとなった。

◆監査委員の意見

○一般会計

歳入について、町税は昨年に引き続き減少したが、一部はコロナの影響を受けたものがあると思われる。町税以外では、ふるさと納税は、取り組みが功を奏し大幅な収入増となった。コロナの影響により町税の安定的な確保が難しい中、町有財産の活用や事業の工夫により自主財源の確保に努められた。

歳出については、コロナの緊急支援策の支出が増大した。地域経済や住民生活に与える影響を見極めながら、迅速かつ効果的な支援に努められた。

厳しい財政状況が続くが、社会情勢の変化に柔軟に対応し得る弾力的かつ持続可能な財政運営に取り組まれない。

○特別会計

港湾事業特別会計は、コロナの影響により赤字解消に至らなかった。ターミナルビルの入居者の確保等により、赤字解消に努められた。

宅地造成事業特別会計は、王子前分譲地の売却に向けた取り組みを着実に進めており、引き続き早期売却に努められた。

農業集落排水事業特別会計は、使用料の単価改正について具体的な検討に着手したことを評価する。

委員長 副委員長 委員

福本 達雄	鈴木 美香	茂木 邦夫	三木 俊明	濱野 良一	福本 耕太	高橋 正博
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

◆議員の辞職について

岡野能之議員から一身上の都合により議員辞職願が提出され、9月30日付で議長において許可しました。

◆総務建設常任委員長の選任

総務建設常任委員長が欠員となったことに伴い、正副委員長の選任を行いました。

・総務建設常任委員会 委員長 三木 俊明
副委員長 濱野 良一

議会の動き

令和3年7月22日～10月21日

7月	8月	9月	10月
27日 香川県後期高齢者医療広域連合議会臨時会	27日 香川県後期高齢者医療広域連合議会臨時会	27日 小豆島中央病院企業団議会定例会	27日 小豆地区広域行政事務組合議会定例会
30日 議会活性化特別委員会	25日 総務建設常任委員会	10日 総務建設常任委員会	7日 総務建設常任委員会
25日 教育民生常任委員会	3日 議会運営委員会	15日 9月定例会本会議	5日 決算特別委員会
		10日 9月定例会本会議	4日 決算特別委員会
		11日 決算特別委員会	11日 決算特別委員会

7月30日開催

委員会の活動報告

議会活性化特別委員会



これまでの検討事項のうち、対応が終了した項目の整理と今年度の取り組みについて協議を行いました。

<提案項目>

- ・議会報告会の開催
- ・インターネットによる議会中継・録画配信
- ・災害時における議会対応マニュアルの作成

<令和3年度の取り組み事項>

- ・提案のあった項目を盛り込んだ議会基本条例の制定
- ・インターネット配信については、今年度末までに方向性を決定



【税務課】

コロナに係る町税等 徴収猶予・減免

徴収猶予については、コロナの影響により、前年に比べて収入が20%減少している方などを対象とした特例がある。特例対象の税目のうち、町県民税、法人町民税、固定資産税、軽自動車税、入湯税、国民健康保険税について、25件(3284万5千円)が適用を受けた。

また、固定資産税、国保税、介護保険料、後期高齢者医療保険料において、コロナの影響による収入減少を要件として、申請により減額、免除を実施した。

入湯税は、コロナの影響で観光客が激減したことにより、令和2年度と令和元年度の比較で約67%減少した。

問 【三木】町税全体では前年度と比較して、いくら減少しているか。

答 町税で5465万5千円、国保税等を含めると5990万円の減少である。

【企画財政課】

過疎地域持続的発展計画

「過疎地域自立促進特別措置法」が令和3年3月末で期限を迎えたことにより、新たに「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」が制定され、これに基づいて、土庄町の過疎地域持続的発展計画を策定した。

策定により、過疎債の活用や国庫補助率のかさ上げなど国からの財政支援措置を受けられる。

問 【鈴木】計画の効果検証は。

答 毎年、関係各課より達成状況を取りまとめ、町のホームページで公表して意見を聴取し、PDCAサイクルに基づく効果検証を行う。

【農林水産課】

農業集落排水事業

使用料の改正について、コロナ禍で開催できていなかった地元説明会は、令和3年秋頃の開催予定である。

維持管理費の半分を使用料で賄えるようにしたいと考えており、国の基準に沿って算定すると、18%の値上げとなるが、一気に上げるのではなく、2段階に分け、1回目を来年度より、2回目を1回目の改定後の5年後と考えている。

意 【岡野】町負担が続くことを踏まえ、今後の方向性を早めに計画してほしい。

答 施設完成から27年経っているので、大規模改修の検討時に事業自体を検討したい。

【商工観光課】

プレミアム付商品券事業

コロナの影響に対する経済対策として、土庄町プレミアム付商品券事業を実施する。発行総額は1億6770万円、プレミアム分は30%、発行冊数は、1万2900冊の予定だ。

地元中小企業用の千円券が6枚、大型店舗・地元用の千円券が3枚、飲食店専用の500円券が8枚、合計1万3千円分の商品券を1万円で販売する。一人2セットまでと考えている。

購入対象者は土庄町民で、前年度のプレミアム付商品券事業で購入していない方を優先したい。

問 【三木】前回の購入者は把握できているのか。

答 商工会からリストをもらい、漏れがないよう行う。

意 【三木】前回、混乱を招いてしまっているので、混乱のないようにしてほしい。

【総務課】

消防団員の確保

全国的に団員数は減少傾向だが、土庄町はおおむね安定した団員数を維持している。今後、準中型免許の取得費用の公費助成制度を検討している。また、国から示された団員の報酬に係る処遇改善については、国の財政措置が具体的に示されておらず、財政に継続的な影響があるため、まずは報酬の団員個人への直接支給から着手していき、報酬額等の見直しについては、財政負担の試算等を行いながら、検討していく。

問 【濱野】実情にあった報酬の支払いや事業所への働きかけが必要ではないか。

答 事業所への働きかけなど団員募集について幅広く広報していきたい。報酬についても、実働体制に応じて検討していきたい。

【建設課】

沖之島離島架橋事業

今年度の工事施工予定は、令和3年度予算として事業費4億6300万円の交付決定を受けている。また、令和4年度予算として国に事業費5億5200万円を要望している。2カ年合計で10億1500万円となり、仮設栈橋の設置・撤去、仮締切工の設置・撤去、橋台の建設及び取り付け部分のブロック製作を想定している。

単年度ごとに工事を発注する予定だったが、施工上の問題から令和4年度の債務負担を行い2カ年分の発注を行いたい。

問 【濱野】県内で受注可能な業者はいくつあるのか。

答 検討中であり、実績のある業者を探していく。



8月27日開催

教育民生常任委員会

【健康福祉課】

新型コロナワクチンの接種状況

8月15日までに、65歳以上の方については、約4900人(82%)、50歳以上64歳以下の方については、約2800人が2回接種を完了している。

12歳以上49歳以下の方については、8月12日から全対象者からの予約受付を行っている。

8月16日から9月26日までの間で、小豆郡全体では集団接種と個別接種を合わせて1万1560回分(5780人分)の予約枠を確保できている。希望者へのワクチン接種について、10月末ごろまでには、ほぼ完了できると見込んでいる。

また、小豆島中央病院のコロナ確保病床数は24床あり、最大で15人が入院していた時期もあったが、現在のところ、入院が必要な方が入院できないということにはなっていない。

問 【福本達雄】集団接種会場で接種券を忘れた場合の対応は。

答 2回目を持ってきてもらうか、紛失の場合は再発行して、その場では受けられるようにしている。

問 【岡本】12歳未満の接種は。

答 まだ国から方針が示されていない。

【生涯学習課】

総合福祉会館の運用

総合福祉会館に入っていた社会福祉協議会が8月末に中央公民館へ移転し、10月以降に商工会が福祉会館に移転する予定である。建物の一部を商工会へ貸し付ける。

利用団体へは、同様の設備を備えた中央公民館または湊崎公民館等を代替施設とすることの説明を十分に行い、活動に迷惑がかからないようにしたい。

問 【茂木】商工会へ貸し付けることになった経緯は。

答 社会福祉協議会にとって、中央公民館のほうが、高齢者や一般の方に使いやすい施設であると考えた。また、商工会の移転先として、セキュリティ面などを勘案して、空いた総合福祉会館を貸し付けることになった。

問 【茂木】貸付は無料か。

答 月額約15万円の予定。

問 【福本耕太】利用団体には、いつ話をしたのか。

答 2月中旬に運営委員及び約25団体に説明した。

【住民環境課】

ごみ取扱手数料の変更

前回の委員会での指摘を踏まえ、不燃ごみの直接搬入料金の改定について、軽トラック1台単位から10kg単位とした。ごみ袋については、可燃袋は消費税分、不燃袋は約2倍の金額に値上げする。減量化のためのごみの手選別、破碎にも経費がかかっており、必要なことだと考えている。

意 【川本】不燃ごみの直接搬入の料金設定について、単位は変わったが、値上げ幅は変わっていない。元の金額と今回提案の金額の中間の額など、もう少し段階を踏むべきだ。

【教育総務課】

教育基本大綱の改正

平成26年の法改正に基づいて策定し、必要に応じて改正を行っている。

大綱の基本的な考え方は、学校や家庭だけではなく、地域全体で、未来を担う子供たちを育てていくという考え方である。大綱の下に教育方針があり、大綱については変更がない限り改正はしないが、教育方針は毎年更新する。

問 【茂木】教育方針の改正箇所は。

答 大筋は変わらないが、地域との連携を方針の中に盛り込んでいきたい。

意 【茂木】保育園に入る前の子どもの子育て支援や、生徒に対するLGBTにも力を入れるべきだ。

【住民環境課】

一般廃棄物最終処分場及び汚泥再生処理センター

建設候補地の案、2カ所のうち、1カ所目は灘山地区の町境の付近で、概算建設費は約27億円。2カ所目は、御影浄苑に併設するもので、概算建設費は約20億円。

また、現在、島外搬出している不燃物の昨年度の実績は、破碎ごみ約225t、焼却灰約226tを搬出し、輸送・処分費は約2千万円であった。汚泥再生処理センターについては、地元自治会等との契約延長交渉により、令和3年3月末から10年の延長となった。令和5年度から6年度に改良工事を実施する予定である。

問 【川本】この処分場問題については時間がかかるが、その間の対応は。

答 島外搬出に頼らざるを得ない。処分場建設に関しては、地元との協議を進めたい。

一般質問

各議員の質問全文は、質問ページにあるQRコードを利用し、町ホームページページでご覧ください。

	<p>おかもと けいじ 岡本 経治 . . . P9</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆新庁舎の工事費の増額理由と備品処分の方針は ◆職員や庁舎のコロナ感染防止対策は
	<p>すずき みか 鈴木 美香 . . . P10</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆新たな働き方となる「労働者協同組合」の法制化への対応は ◆自己破産も確定していない町長の立候補は ◆総合福祉会館から福祉団体を追い出すような移転は白紙撤回すべき ◆町としてプラゴミゼロ宣言を
	<p>おかの よしゆき 岡野 能之 . . . P11</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆コロナ感染症対策による町内経済への影響と事業者への支援策は
	<p>み き としあき 三木 俊明 . . . P12</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆人間ドック助成の拡充施策で疾病の早期発見・早期治療を ◆新たな社会福祉の拠点づくりを ◆不燃ごみ最終処分場計画の経過報告を
	<p>はまの りょういち 濱野 良一 . . . P13</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆コロナ禍における町有施設の使用制限と今後の町の方針は ◆一般廃棄物収集運搬許可の基準は
	<p>ふくもと こうた 福本 耕太 . . . P14</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆三枝邦彦氏の次期町長選挙立候補について、政治資金の動きを問う ◆唐櫃漁港の浮桟橋設置事業は中止すべき ◆まん延防止のあり方は、住民生活への影響が小さくなる方法を考えるべき
	<p>もてき くにお 茂木 邦夫 . . . P15</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆町長は選挙に向けて公的立場を利用し過ぎでは ◆豊島救急搬送体制と消防団活動の改善を ◆ゼロカーボンシティ宣言と SDGs に向けた取り組みを



新議場で行われた初めての一般質問



おかもと けいじ
岡本経治 議員



新庁舎の工事費の増額理由と 備品処分の方針は

問

新庁舎建設工事は、当初の概算26億8千万円より1億円の大幅な増額となった。町民からも高いという声を聞く。

なぜこんなに跳ね上がるのか。今年度の町の一般会計予算は、100億円以上となっているが、このようなやり方で、町長は財政管理していると思うか。

また、町長は、請負会社と直接交渉を行ったか。

答

総務課長

庁舎、渡り廊下、屋外階段工事の最終金額は22億5922万4千

答

町長

円、浄化槽改修工事、車庫棟建設、診療所棟改修工事、外構工事の最終金額は4億9327万6千円、総額は27億5250万円である。

原因はよく分からないうが、オリンピックがあったことで高くなつたのは、致し方ないと思う。

直接、交渉には入っていない。

問

旧庁舎で使用していた椅子や机などを住民等に販売し、自主財源の確保につなげる考えはあるか。

答

出納室課長

まずは希望のある出先機関等に移動、譲渡を検討する予定である。

販売については、新たな財源確保という観点から有効な方法の一つとして考えていきたい。

職員や庁舎のコロナ感染防止対策は

問

コロナ対策を迅速かつ適切に講じるためにも、危機管理を担う町役場の感染対策は重要だ。庁舎、来庁者、職員への感染対策にどのような取り組みをしているか。

答

総務課長

庁舎施設においては、24時間換気システムの稼働、カウンターの消毒などの基本的



庁舎入口で検温・消毒

問

町長自身が、よく数名で外食をしていると聞くが、これは事実か。また、複数人と行って申し訳ない気持ちはあるか。

答

町長

飲食店への支援というのがあるが、コロナ対策の延長線上のいろいろな会議があり、その後、何人かで行ったというのは事実だが、個人的な話なので、ここで話することでない。

意

過ちを認めれば町民は分かってくれる。町民の感情を逆なでしないよう、今後の施策に取り組んでほしい。

答

町長

県より啓発活動の要請があったものである。

問

先日マスクを配布していたが、必要性はあったのか。

新たな働き方となる 「労働者協同組合」の 法制化への対応は



鈴木美香 議員



問

働く人自らが出資し、組合員として運営を担う「協同労働」という新たな働き方を実現する「労働者協同組合法」が昨年12月に可決された。

これにより企業形態にとられない働き方の選択肢が増え、地域にとって必要な事業が促進されることにより、地域の課題解決や絆づくりにつながるものと期待されている。

移住やワーケーションの促進という観点からも、受け入れ地域での仕事の確保は重要であり、その一助になると考える。

答

商工観光課長

新しい働き方を生み出し、地域課題の解決にも寄与する労働者協同組合についての町の認識と今後の対応は。



日本においては、ワーカーズコップ、ワーカーズコレクティブとよばれる事業体がこの理念のもと活動しており、福祉や若者支援など、営利企業は手を出しにくいのが、地域にとっては必要なサービスを提供している。

まず、町としては、国や県の進め方、考え方を確認した上で周知を図っていききたい。

問

答

町長

過去に税金滞納の件で、納税の証拠となる書類の提出について、議会でも度々質問されているのに、なぜ提出しないのか。

私個人での税金の滞納問題は、過去も現在もない。会社で滞納があったことと個人は別なので、区別してほしい。証拠資料は、議会の代表である議長に見せた。議長が議員にも話をするので、議長だけで十分だという認識であった。

8年前に会社の社長

自己破産も確定していない 町長の立候補は

問

自己破産さえ決着していない不名誉な立場で首長に立候補することについてどう考えているか。

答

町長

今は審査中である。行政のトップとして、公正、公平な判断がなかなかできないというところもあり、結果的に自己破産の道を選んだ。

問

答

町長

倫理的、道義的に反していると思うが、町民に對しどのような思いか。

民主主義、公職選挙法にのっとり、これから町民の皆さんの判断を仰ぐことになる。

今はコロナ禍により、いろいろな業種の方が疲弊している。行政としてできることをしっかりと見つけ、優先課題として取り組んでいく。

倫理的、道義的な部分については、謙虚に反省している。

・総合福祉会館から福祉団体を追い出すような移転は白紙撤回すべき
・町としてプラゴミゼロ宣言を

その他の質問



おか の よし ゆき
岡野能之 議員



コロナ感染症対策による町内経済への影響と事業者への支援策は

問

国、県、町はこれまで、さまざまなコロナの経済支援を行ってきたが、コロナ禍が長引き、事業者が廃業を余儀なくされることが予想される。

町長は、今年度の施政方針で経済対策について触れていなかったため、私が質問したところ、「大きな問題であり、新年度の様子を見る必要性がある」と答弁があった。現時点で必要な経済支援とコロナ収束後についてどのような経済対策を講じているか。

答

商工観光課長

新たにプレミアム付商品券事業実施に伴う予算を提案している。収束後は、アニメを活用した地元事業者とのコラボ商品の開発やアウトドアに関連したコンテンツの造成などを考えている。

問

飲食店への時短営業要請が出ている中、安心して店に来ていただくため、※かがわ安心飲食店認証制度を申請中の事業者があるが、県の対応が遅い。町が認証を代行できないのか。

答

商工観光課長

県には迅速な対応を求めているが、引き続き、飲食店には認証制

※かがわ安心飲食店認証制度
コロナ感染拡大防止を図るため、対策に取り組む飲食店であると県が認証する制度。認証店には、認証ステッカーの交付、経費補助などがある。

度を周知していく。

問

小豆島町と連携したコロナ経済対策は。

答

商工観光課長

現在は行っていないが、今後情報共有しながら、できることは一緒にやっていきたい。

問

どの業界の売り上げが減っているのか。

答

商工観光課長

把握はしていないが、昨年度の中小企業対象の給付金実績から見ると、宿泊業、飲食サービス業、小売業、卸売業が大きく影響を受けている。

問



町長は、農業・水産業の取り組みについて、過去、土庄ブランド「Tブランド」の確立や6次産業化への支援等に協力していくと答弁しているが、地域おこし協力隊や包括協定を結んでいる大学と連携してやっていく考えは。

答

町長

大学に6次産業化に向けてのパッケージや新商品開発等もお願いしている。消費拡大の観点から小豆島町との連携も必要だ。

問

庁舎内に、コロナ経済支援・相談窓口の設置の予定はないのか。

答

商工観光課長

商工会と協議しながら、検討していく。

問

コロナ収束後、多くの人出が予想されるため、フェリー会社、旅行会社その他交通機関との感染対策の協議及びアナウンスが必要では。

答

商工観光課長

観光協会、船舶組合、両町で制作した啓発チラシの配布やホームページで周知を行っている。引き続き徹底したい。

意

感染対策を徹底し、観光客が安心して来られるようにしなければ、土庄町の経済の発展はないと思われる。廃業に追い込まれ、生活が困難になる方を救済するためにも、スピード感を持って経済対策を進めてほしい。

人間ドック助成の拡充施策で 疾病の早期発見・早期治療を



み き とし あき
三木俊明 議員



問

後期高齢者の人間ドック補助が、廃止されている。復活を望む声があるが、疾病の早期発見・早期治療の観点からも助成制度を復活させるべき。

答

健康福祉課長

国の補助が廃止され、事業を継続する場合は、町の単独事業で実施する必要がある。後期高齢者の人間ドック事業は終了することとしたが、町では、後期高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施事業を実施している。

問

国保、後期高齢被保険者の人間ドック受診率は。

答

健康福祉課長

国保が2%、後期高齢が0・7%程度である。病院の受け入れ人数にも限りがあり、希望者全員が受診できないのが実情。

問

脆弱な医療体制の島では、島民一人ひとりの健康に対する意識を高めることが、わが身を守り、家族を守り、島を守っていくことにつながる。小豆島中央病院健康管理室の充実を支援し、人間ドックの受診数を増やしていく施策を行うべき。町の考えは。

答

町長

人間ドックも含めて健康診療について両町で支援を続けていく。



総合福祉会館でボランティア活動

問

わが町の社会福祉の拠点であった総合福祉会館が商工会に貸し出された。活動拠点を失うことは、明らかな福祉政策の軽視であり後退である。町長の社会福祉施策についての見識を問う。

答

町長

町の施策の中で大事な一つと考えている。

問

なぜ、総合福祉会館を商工会に貸し出し、利用者が他の施設の貸館で活動しなければならぬのか。

答

町長

公民館であれば、便利になると判断した。担当課のほうから細かい話がなかったのだからさかという気持ちだ。

問

町長のそういう考えや姿勢が職員の町民に対する対応に表れているのではないか。社会福祉をはじめ、全ての基本は人づくりにある。「感謝の心とサポートをする力」その活動拠

意

議会における町長の発言は非常に重い。町民は期待をするし、整備についての理解も得られると思う。ぜひ進めてほしい。

答

町長

点を行政が奪ってはない。新庁舎周辺の既存施設を活用した社会福祉拠点の整備の考えは。

新たな社会福祉の拠点づくりを

・不燃ごみ最終処分場計画の経過報告を

その他の質問



はまのりょういち

濱野良一 議員



コロナ禍における町有施設の使用制限と今後の町の方針は

問

現在、町有施設は、感染者の発生状況により使用停止となる。ワクチン接種が進み、コロナの知識や対策等の情報が蓄積されてきている中、当初のままの対応ではおかしい。特に子どもに関することや公共に関わる団体など、生活の中で必要とされる活動には、ケースバイケースで柔軟な対応を講じるべきだと考えるが、今後の方針は。

答

生涯学習課長

国、県及び町の方針に従い、住民の安心と安全を最優先に考慮して対策を行ってきた。



土庄第二体育館

答

教育長

現在はワクチン接種が進み、これまでとは状況が変わってきており、住民生活への影響等も考えながら対応していく。

問

イベント等も状況を説明しながら、指針を出していく時期にきているのではないか。

答

商工観光課長

ワクチン接種も進む中、イベント等の開催

意

※COCAについては、COCAやPCR検査、抗原検査等を活用し、できるだけ可能性を探りながらやっていく。

離島であることは、感染対策には強みである。

町有施設の使用については、島内での感染状況等を鑑みて、できるだけ早く検討してほしい。

答

教育長

条件を検討し、進めていきたい。



〇厚生労働省

※COCO A(「LINE」)
「新型コロナウイルス接触確認アプリ」のことで、スマートフォンを利用して、コロナ陽性者と接触した可能性について、通知を受けることができます。

一般廃棄物収集運搬許可の基準は

問

先日、新たな一般廃棄物収集運搬許可についての説明があった。許可の基準や要件はあるのか。また、地元への悪影響がないよう慎重な判断が必要だと思いが、どのような対応をするのか。

答

住民環境課長

一般廃棄物または運搬の許可の要件は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第7条第10項に規定している。申請のあった業者は、要件・基準は満たしているが、過去の判例も参考にしながら、町の委託業務の増加やコロナ収束後の飲食店の需要増加により、既存業者での事業所の収集が滞る場合には、新たな営業許可を検討する。

答

町長

まだ町において一部、収集業務を行っているが、今後民間へ移管するということが計画を進めている。現状を十分精査し、全体的なことを調べて判断する。



ゴミ収集車

三枝邦彦氏の次期町長選挙立候補について、政治資金の動きを問う



ふくもと こうた 議員
福本 耕太



問

三枝町長は現在、「借金返済ができない」という理由で自己破産を申請している。しかし、選挙に出るには、供託金50万円をはじめ、政治資金が必要だ。そのお金があるなら、まず債権者に返済するのが、公人、町長を目指す人の社会的責任だと思うがどうか。

答

町長

個人的な話なので、答弁を差し控えたい。

問

返済するお金がないのに、選挙費用をどこ

から調達するのか。

答

町長

個人的なことなので答弁は控える。

問

町長選挙への立候補は、個人的なことでは済まない。自己破産する人に、金融機関はお金を貸さないの、借入先は別になる。例えば、公共事業受注会社からお金を借りれば、違法だ。政治資金の動きを説明できなければ疑惑が出てくる。きちんと住民に説明するべきだ。

答

町長

一般質問の場合の言うべき問題ではない。



唐櫃漁港の浮桟橋設置事業は中止すべき

問

町は、直島で不要になった浮桟橋の半分を県からもらい受け、唐櫃漁港に設置しようとしている。

①桟橋は地元漁協の要望か。②漁協に許可を得たのか。またその際、漁業者に「ただで取り付ける」という話をしたのか。

答

農林水産課長

①地元漁協からの要望ではない。瀬戸芸の開催時には多くのビクターボートの係留依頼があるが、係留場所の防波堤は、干潮時に海面との高低差が大きく、乗降が危険であり、改善のためだ。
②「ただで取り付ける」という話はしてない。

問

コロナ禍で住民の暮らしを支える予算を最優先すべきときに、ビクターボートで訪れる観光客向けに1530万円の町単独予算を投じることには、疑問がある。

意

①来年の瀬戸芸開催時に、コロナが収束している見通しを科学的根拠に基づいて示せ。
②ビクターボートで豊島に来る観光客のコロナ感染チェックの方法は③金額はこの業者が見積もったのか。④工事請負業者の選定方法は。

答

農林水産課長

①コロナの状況の判

断についてはできない。②今現在もできていないし、浮桟橋設置後もできない。③専門業者に依頼した部分と町の歩がかりにより算出した部分がある。④町の指名審査委員会を選定する。

住民のほとんどが、計画を知らず、漁業者からの要望もないなど住民が置き去りになっている。

地元漁師からは、桟橋の設置場所が生活の障害になるのではと不安の声がある。そうした声をきちんと整理し、議論することが重要。現時点での予算化は中止すべきだ。

その他の質問

・まん延防止のあり方は、住民生活への影響が小さくなる方法を考えるべき



もて き くに お
茂木邦夫 議員



町長は選挙に向けて 公的立場を利用し過ぎでは

問

連日、防災無線で町長の流暢な録音の音が聞こえる。コロナ感染拡大防止期間に町民に安心していただくため無線を活用するのは理解できる。ただ、12月に選挙を控えた今、「防災無線での録音放送」は「町内有権者全世帯（約4000世帯）に向け、朝・昼・晩、声を届けることができる、最高の政治活動」になりえる。何千万円レベルの広告費が必要な方法だ。現職の公的立場を利用して見ると、見える側面がある。

答

町長

放送が「録音」であることに気づいていない町民も多い。選挙のためという意図は当然ないと思うがどうか。

8月半ばから感染者が増えたので、注意喚起のため、放送した。そういう意図は全くない。

問

子どもが生まれた際に届くメッセージも「町長三枝邦彦より」ではなく、本来「土庄町より」でよいはず。三枝氏は町の代表者だが、政治家でもあるので、「有権者への物品供与」にあたる。

公職選挙法でも「公務員等の地位利用による選挙運動の禁止」が定められており、特別職である町長として地位を利用したことになるので、「差し控えるべき」と他市町の選挙管理委員会でも見解が

答

町長

出ている。町長は、どのように考えているか。

子どもが生まれた際のメッセージは令和2年7月に終了しているが、そういうことに触れる可能性もあったかもしれない。その後、コープかがわさんと提携して、子どもが喜ぶ物を送っていたかどうかお願いしている。

問

敬老会の祝い金、お祭りなど有権者に対し「町長 三枝邦彦」名義で、物品を配布していたこともある。選挙に出馬されるなら納税証明書や交際費をホームページで公開し、公正な選挙をすることが望ましい。

今年8月に実施した町政報告会も、自治会長等を除き、ほとんどの町民には知られなかった。町長と後援会

答

町長

長の県議と二人で、職員を率いての町政報告は、町職員に協力させての政治活動では。

たぶんうがった見方だ。コロナ禍により人数制限しただけで、そういう意図はない。

問

町長に陳情をあげる

答

町長

立場、かつ地域に影響のある自治会長だけを集めて、一般の方は参加できなかった。以前、オンライン開催の検討を提案したが、今回も実施されなかったのはなぜか。

オンラインでやるには設備が必要。今後の課題だ。



豊島で行われた昨年度の町政報告会の様子

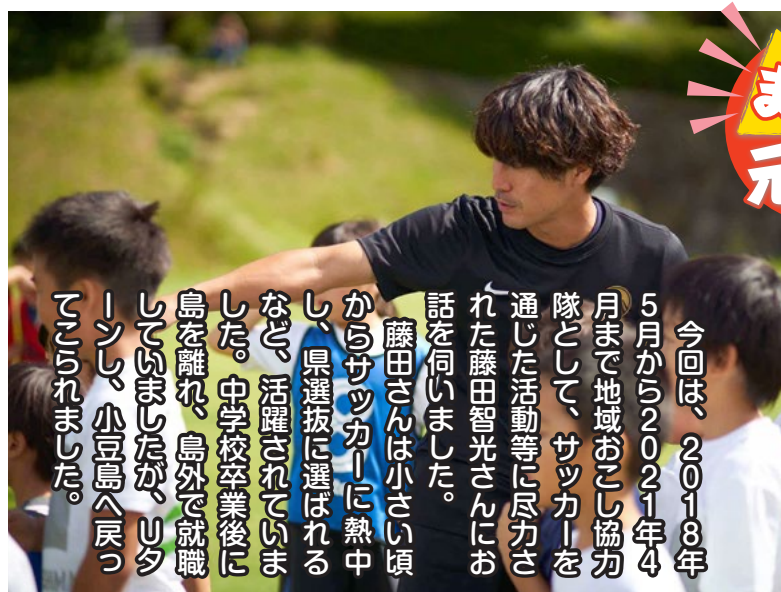
その他の質問

- ・豊島救急搬送体制と消防団活動の改善を
- ・ゼロカーボンシティ宣言とSDGsに向けた取り組みを

まちの 元気印

地域おこし協力隊としてUターン

藤田 智 光 さん



今回は、2018年5月から2021年4月まで地域おこし協力隊として、サッカーを通じた活動等に尽力された藤田智光さんにお話を伺いました。

藤田さんは小さい頃からサッカーに熱中し、県選抜に選ばれるなど、活躍されていました。中学校卒業後に島を離れ、島外で就職していましたが、Uターンし、小豆島へ戻ってこられました。

Q Uターンのきっかけは。

A 島外で就職し、サッカーから遠ざかっていた時期に、指導者として、生まれ育った小豆島でサッカーを教えたいと思うようになりました。それからしばらくして、知人を通じて小豆島スポー

ティーズのフットボールアカデミーBolaniGo(ボラニゴー)に関わり、その後、地域おこし協力隊として島に戻りました。

Q 地域おこし協力隊としての活動内容は。

A サッカーの指導、

サッカーを通じた子どもたちの交流を主としていました。

島内外からサッカーチームを招いてサッカーフェスティバルの開催、合宿の誘致、現役・元プロ選手によるクリニックの開催や、元日本代表監督の岡田氏に講演していただいたりしました。

そのほか、オーストラリアと島の子どもたちとの交流事業や、シマアソビという団体を立ち上げ、地元の小部でアクティビティの体験などを行いました。

Q 協力隊の任期を終え、現在の活動は。

A BolaniGoで、サッカーの指導や、シマアソビの運営をしています。

Q 今後の目標は。

A サッカーに限らず、子どもたちの可能性を広げられるような指導をしていきたいと思っています。

サッカーの練習だけではなく、交流事業などの取り組みを行うのは、若い頃から島外のことに触れ、考え方の幅を広げ

てほしいからです。「島やから」とネガティブになるのではなく、子どもたちには、島だからできることを考え、島を誇りに思い、交流を広げて大きくなってほしいと思います。

Q 町や議会に対する要望はありますか。

A 子どもたちのケガのリスク軽減のために、芝のグラウンドがあればいいと思います。

また、プロの選手を招いたり、プロ選手のシーズンオフのキャンプ地として宣伝できるようにするので、子どもたちとプロが触れ合う機会をつくったり、島の活性化につながるのではないかと思います。



元プロの選手から指導を受ける子どもたち

お話の中で、子どもたちのことを考えて活動する藤田さんの熱い想いを感じました。

藤田さんが掲げる「島やけど世界レベル」の言葉どおり、今後も小豆島を盛り上げ、活躍していただきたいと思います。

議会を傍聴してみませんか？

次回定例会は**11月下旬**の予定です。

場所：土庄町役場 4階 議場
詳しくは議会事務局へ
☎(0879)62-7011

日程等は町ホームページで11月中旬頃にお知らせします。



議会だよりについて、良い点、悪い点など、皆さまのご意見をお聞かせください。
FAX(0879)62-8303

編集後記

秋の深まりを感じる今日この頃、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

本来なら秋祭りや紅葉の季節で賑わう頃であります。が、平常に戻るにはもう少し時間がかかりそうです。

9月議会も感染症対策を取りながら、新庁舎での初めての開会となりました。

新庁舎では議場ロビーに設置したモニターで視聴することもできるようになっています。ぜひ、お気軽に立ち寄りください。

年末には、土庄町の将来・方向を決める重要な町長選挙があります。町民の皆さまの意思表示をする場であります。期日前投票も利用しやすくなっています。

《濱野良一 記》

議会広報特別委員会

委員長	茂木 邦夫
委員	三木 俊明
委員	濱野 良一
委員	福本 耕太
委員	木場 隆司
委員	高橋 正博